

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5449184号
(P5449184)

(45) 発行日 平成26年3月19日 (2014. 3. 19)

(24) 登録日 平成26年1月10日 (2014. 1. 10)

(51) Int. Cl. F I
B 6 5 D 6/02 (2006.01) B 6 5 D 6/02

請求項の数 12 (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2010-535288 (P2010-535288)	(73) 特許権者	596060424
(86) (22) 出願日	平成20年11月27日 (2008. 11. 27)		フィリップ・モーリス・プロダクツ・ソシ
(65) 公表番号	特表2011-504857 (P2011-504857A)		エテ・アノニム
(43) 公表日	平成23年2月17日 (2011. 2. 17)		スイス国セアシュール 2000 ヌシャテル
(86) 国際出願番号	PCT/EP2008/010056		、ケ、ジャンルノー 3
(87) 国際公開番号	W02009/068280	(74) 代理人	100092093
(87) 国際公開日	平成21年6月4日 (2009. 6. 4)		弁理士 辻居 幸一
審査請求日	平成23年10月27日 (2011. 10. 27)	(74) 代理人	100082005
(31) 優先権主張番号	61/004, 764		弁理士 熊倉 禎男
(32) 優先日	平成19年11月30日 (2007. 11. 30)	(74) 代理人	100067013
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 大塚 文昭
		(74) 代理人	100086771
			弁理士 西島 孝喜
		(74) 代理人	100109070
			弁理士 須田 洋之

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 消費財用ポケットサイズ容器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器であって、

前記容器の第 1 の側壁部分を形成する突出ブルワークを有し、カバーを受け入れるための前記突出ブルワークから上方にある上側リム部分と、ベースを受け入れるための前記突出ブルワークの下方にある下側リム部分と、を有する周縁バンドと、

前記周縁バンドの突出ブルワークの下方で且つ該突出ブルワークと同一平面上に第 2 の側壁部分を形成し、前記周縁バンドの下側リム部分を囲む上向き壁を有するパン形剛体ベースと、

前記容器の閉鎖時に前記周縁バンドの突出ブルワークの上方で且つ該突出ブルワークと同一平面上に前記容器の第 3 の側壁部分を形成し、前記周縁バンドの上側リム部分を囲む下向き壁を有するパン形剛体カバーと、

を備え、

前記周縁バンドが、該周縁バンドからの前記ベースの解除を防止するロック機構を含み、前記周縁バンドが透過性又は半透明であり、前記容器の前記内部容積が、前記周縁バンドを通して見ることができる、

ポケットサイズ容器。

【請求項 2】

前記内部容積が、前記周縁バンドを通して見ることができる複数の消費者製品を収容する、

10

20

請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 3】

前記周縁バンドが、プラスチックである、

請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 4】

前記周縁バンドが、薄着色、又は有色性である、

請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 5】

前記周縁バンドの下側リム部分の下縁が前記ベースの底部と近接又は接触しており、前記周縁バンドの上側リム部分の上縁が前記カバーの頂部と近接又は接触している、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

10

【請求項 6】

前記周縁バンドが、前記ベースの底部を整列させる一体型トレイに組み込まれる、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 7】

前記容器が、前記カバー、前記ベース、及び前記周縁バンドから成る 3 部品容器であり、前記ベースがカール上縁がスタンプ加工された金属シートであり、前記カバーが、カール下縁がスタンプ加工された金属シートであり、前記周縁バンドが、有色シースループラスチックである、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

20

【請求項 8】

前記ロック機構が、前記周縁バンドの下側リム部分の外表面上に複数の突起部を含み、該突起部が、前記ベースの上向き壁の上側内向きカール縁部をロックして、該カール縁部が前記突出ブルワーク及び前記突起部との間でクランプされるようにする、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 9】

前記カバーが前記周縁バンドにヒンジ固定される、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 10】

前記ベースがシート金属からなり、前記ベースの上縁が、前記シート金属の内向きカール部分を含み、前記ロック機構が前記カール部分を係合する平坦面を含む、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

30

【請求項 11】

前記カバーがシート金属からなり、前記カバーの下縁が前記シート金属の内向きカール部分を含み、前記カバーが、前記カール部分を係合する湾曲面によって前記周縁バンドに取り外し可能に固定される、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

【請求項 12】

前記周縁バンドの上縁において内部空間の周辺にシールされた第 1 の薄膜と、
前記容器の周辺付近において前記容器の閉鎖時に前記カバーの下向き壁と前記突出ブルワークの上縁との間に形成された分割ラインを覆う第 2 の薄膜と、
の少なくとも 1 つを更に備え、
前記第 1 及び第 2 の薄膜が、通気性又は非通気性の天然又は合成材料、フォイル、プラスチック、ポリプロピレン、ポリオレフィン、これらの複合体、感圧体、収縮嵌合体、及びこれらの組み合わせのうちの 1 つを含む、
請求項 1 に記載の消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器。

40

【発明の詳細な説明】

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0001】

50

1つの実施形態によれば、容器の第1の側壁部分を形成する突出ブルワークを有する周縁バンドを含む、消費者製品と共に使用するためのポケットサイズ容器が提供される。周縁バンドは、カバーを受け入れるための突出ブルワークから上方にある上側リム部分と、ベースを受け入れるための突出ブルワークの下方にある下側リム部分とを有する。周縁バンドの下側リム部分を囲む上向き壁を有するパン形剛体ベースは、周縁バンドの突出ブルワークの下方で且つ該突出ブルワークと同一平面上に容器の第2の側壁部分を形成する。周縁バンドの上側リム部分を囲む下向き壁を有するパン形剛体ベースは、容器の閉鎖時に周縁バンドの突出ブルワークの上方で且つ該突出ブルワークと同一平面上に容器の第3の側壁部分を形成する。周縁バンドは、該周縁バンドからベースの解除を防止するロック機構を含む。

10

【0002】

1つの実施形態において、周縁バンドは、ベースに嵌合したトレイの側壁を含む。周縁バンドは、ベースの底部と整列した一体型トレイに組み込むことができる。1つの実施形態では、トレイは、タバコポーチ製品を収容し、周縁バンドの上縁が薄膜で気密シールされる。

【0003】

1つの実施形態において、ベースは、丸形コーナ又は急コーナにおいてベースのドーム型底部を平滑な半径と接合する2つの直線側壁及び2つの湾曲端部壁を含み、側壁部分は実質的に垂直であり、カバーは、丸形コーナ又は急コーナにおいてカバーのドーム型頂部を平滑な半径と接合する2つの直線側壁及び2つの湾曲端部壁を含む。1つの実施形態では、周縁バンドの下側リムは、2つの直線壁と2つの湾曲端部壁とを含み、直線壁及び端部壁には離間して配置された突出部を備え、ロック機構は、ベースの直線壁及び湾曲壁に係合する離間して配置された突起部を含み、ベース及びカバーはサイズ及び形状が同一である。

20

【0004】

別の実施形態では、ベースが矩形中心セクション及び丸形端部セクションを含み、該丸形端部セクションは中心セクションよりも幅が広く、側壁部分が実質的に垂直であり、カバーが矩形中心セクション及び丸形端部セクションを含み、該丸形端部セクションが中心セクションよりも幅が広く、カバーがドーム型頂部又は平坦な頂部を含み、ベースがドーム型底部又は平坦底部を含む。

30

【0005】

容器は更に、ベースの外表面、周縁バンドの外表面、カバーの外表面、又はこれら組み合わせのうちの少なくとも1つにラベルと、ベース及びカバーの外表面及び内表面のうちの少なくとも1つに耐傷性テクスチャコーティングとを含むことができる。

【0006】

別の実施形態によれば、無煙タバコ製品を包装する方法が提供され、該方法は、上向き壁に接合された底部を有するパン形状ベースを機械スタンプ加工し、上向き壁上の上縁を内向きに機械カーリング加工して内向きカール縁部を形成する段階と、カバーを受け入れるための上側リム部分と、ベース上向き壁の内部を密着して整列させる下側リム部分と、上側及び下側リム部分の間に突出ブルワークとを含み、上向き壁上のカール上縁に係合し永久的にロックするために下側リム部分の外側の周縁付近に複数の突起部を有するプラスチック周縁バンドを射出成形する段階と、内向きカール縁部が突起部を覆って延びて突起部とブルワークとの間のギャップにスナップ嵌合するまで周縁バンド下側リム部分をベースに押し込む段階と、周縁バンド内の空間に無煙タバコ製品を少なくとも部分的に充填する段階と、周縁バンドの上側リム部分を下向き壁を有するカバーで覆い、下向き壁の対向する端部と周縁バンドの突出ブルワークとの間の分割ラインと上側リム部分周辺で密接に嵌合させるようにする段階と、分割ラインを切り取りストリップでシールして、ポケットサイズ容器を形成する段階と、を含む。射出成形中にトレイ底部を周縁バンド上に形成することができ、該トレイ底部は、ベース底部の内部を整列させるように構成される。

40

【0007】

50

別の実施形態によれば、無煙タバコ製品を包装する方法が提供され、該方法は、上向き壁に接合された底部を有するパン形状ベースを機械スタンプ加工し、上向き壁上の上縁を内向きに機械カーリング加工して内向きカール縁部を形成する段階と、カバーを受け入れるための上側リム部分及びベース上向き壁の内部を密着して整列させるための下側リム部分を有する周縁バンドと、ベース底部の内部を整列させるためのトレイ底部と、上側及び下側リム部分の間に突出ブルワークとを含み、上向き壁上のカール上縁を係合し永久にロックするために下側リム部分の外側の周縁付近に複数の突起部を有する一体型プラスチックトレイを射出成形する段階と、トレイに無煙タバコ製品を少なくとも部分的に充填する段階と、上側リムの上縁において内部空間の周辺にシールされた薄膜でトレイを覆う段階と、内向きカール縁部が突起部を覆って延びて突起部とブルワークとの間のギャップにスナップ嵌合するまで周縁バンド下側リム部分をベースに押し込む段階と、周縁バンドの上側リム部分を下向き壁を有するカバーで覆い、下向き壁の対向する端部と周縁バンドの突出ブルワークとの間の分割ラインと上側リム部分周辺で密接に嵌合させるようにする段階と、分割ラインを切り取りストリップでシールして、ポケットサイズ容器を形成する段階とを含む。

10

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1A】ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され且つ容器の閉鎖時にベースの垂直壁及びカバーの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドとを備えた、丸形コーナ形状を有する容器の1つの実施形態を示す図である。

20

【図1B】ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され且つ容器の閉鎖時にベースの垂直壁及びカバーの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドとを備えた、丸形コーナ形状を有する容器の1つの実施形態を示す図である。

【図1C】ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され且つ容器の閉鎖時にベースの垂直壁及びカバーの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドとを備えた、丸形コーナ形状を有する容器の1つの実施形態を示す図である。

【図1D】ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され且つ容器の閉鎖時にベースの垂直壁及びカバーの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドとを備えた、丸形コーナ形状を有する容器の1つの実施形態を示す図である。

30

【図2】レーストラックに似た丸形コーナ形状を有する容器の別の実施形態を示す図である。

【図3A】ドーム型底部と、ベースと一体化されずにベース内に取り込まれた連続周縁バンドを有し、該周縁バンドがベース垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークと第1の薄膜及びカバー垂直壁を受け入れて容器を閉鎖する上側リム部分とを有する、丸形コーナ容器のベースの別の実施形態の長側面の側面図である。

【図3B】ドーム型底部と、ベースと一体化されずにベース内に取り込まれた連続周縁バンドを有し、該周縁バンドがベース垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークと容器を閉鎖するため第1の薄膜及びカバー垂直壁を受け入れる上側リム部分とを有する、丸形コーナ容器のベースの別の実施形態の短側面の側面図である。

40

【図4A】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖するドーム型頂部及び垂直壁を有する丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の長側面の側面図である。

【図4B】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖するドーム型頂部及び垂直壁を有する丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の短側面の側面図である。

【図5A】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖するドーム型頂部及び垂直壁を有する丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の長側面の側面図である。

【図5B】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖するドーム型頂部及び垂直壁を有する

50

丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の短側面の側面図である。

【図6A】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖する平坦な頂部及び垂直壁を有する丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の長側面の側面図である。

【図6B】周縁バンドを覆って嵌合して容器を閉鎖する平坦な頂部及び垂直壁を有する丸形コーナ容器のカバーの別の実施形態の短側面の側面図である。

【図7A】容器が、平坦頂部を有するカバーと、平坦底部を有するベースと、ベースと一体化されずにベースに接続された連続周縁バンドとを有し、該周縁バンドが、容器の閉鎖時にベースの垂直壁及びカバーの垂直壁と同一平面上にある容器の側壁を形成する突出ブルワークを有する、別の実施形態による閉鎖容器を通る断面図である。

【図7B】ベースと一体でない周縁バンドが、ベースの底部と上側リム部分の上縁にシールされた第1の薄膜とを整列させるトレイ底部を有する、別の実施形態による閉鎖容器を通る断面図である。

10

【図8】周縁バンドの1つの実施形態の長側面の側面図である。

【図9A】長側面に窪みを備えた丸形コーナ形状を有し、ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され、カバーの垂直壁及びベースの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドと、を有する容器の別の実施形態を示す。

【図9B】長側面に窪みを備えた丸形コーナ形状を有し、ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され、カバーの垂直壁及びベースの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドと、を有する容器の別の実施形態を示す。

20

【図9C】長側面に窪みを備えた丸形コーナ形状を有し、ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され、カバーの垂直壁及びベースの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドと、を有する容器の別の実施形態を示す。

【図9D】長側面に窪みを備えた丸形コーナ形状を有し、ドーム型頂部を有するカバーと、ドーム型底部を有するベースと、ベースと一体化されず且つベースに接続され、カバーの垂直壁及びベースの垂直壁と同一平面上にある容器側壁を形成する突出ブルワークを有する連続周縁バンドと、を有する容器の別の実施形態を示す。

【図10】容器の1つの実施形態の周辺付近にある穿孔ラベルの実施形態を示す。

30

【発明を実施するための形態】

【0009】

本明細書に記載したように、ポケットサイズ容器の1つの実施形態は、容器の中心側壁部分を形成する周縁バンド（すなわちカラー）と、容器の下側側壁部分及び底部を形成する上向きの垂直壁を備えたパン形ベースと、容器を閉鎖して該容器の上側側壁部分及び蓋を形成する下向きの垂直壁を備えたパン形カバーとを有する。好ましくは、中心側壁部分、下側側壁部分、及び容器が閉鎖されたときの上側側壁部分は、容器に外接する平滑な平面を形成する。容器の別の実施形態では、周縁バンドは、ベースの底部を整列させるようにトレイと一体的に形成することができる。

【0010】

40

好ましくは、周縁バンドは、突出ブルワークから上方に突き出た上側垂直リム部分を有し、カバーの垂直壁の内表面を受け入れて容器を摩擦閉鎖する。突出垂直ブルワークは、容器の中心側壁部分を形成する。好ましくは、周縁バンドは、突出垂直ブルワークから下方に別のリム部分すなわち下側垂直リム部分を有し、ベースの垂直壁内部に沿ってベースに接続する。本明細書で使用されるように、垂直壁又はリム部分は実質的に垂直の向きを指すが、幾つかの実施形態では、これに限定されず、例えば、垂直壁及び垂直リム部分の一方又は両方が、平滑な連続湾曲部の1つ又はそれ以上であり、或いは垂直方向に対してある角度にすることができる。

【0011】

好ましくは、周縁バンドは、容器に外接するシームレスの外表面を提供する。周縁バン

50

ドは、カバー及びベースが周縁バンドだけによって支持されるように、ベースとの確実な機械的接続と、カバーとの解除可能なスナップ嵌合又は摩擦嵌合を提供する。容器は好ましくは、周縁バンド内の空間により定められる内部容積内に消費アイテムを収容する。

【0012】

周縁バンドは、カバーが取り除かれたときに容器が高い振り安定性を有するように高強度の直立剛性壁を提供する。好ましい実施形態では、周縁バンドは、気密性シールのためにその上端部にてシール可能な開口を提供する。好ましくは、周縁バンドは、容器の滑らかな開閉のための面を提供する。周縁バンドがプラスチックで1つの実施形態において、金属と金属が接触するガタガタ音又はきしみ音を避けることができる。

【0013】

好ましくは、中心側壁部分、下側側壁部分、上側側壁部分、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも1つは、ラベル用の平面円周方向パネルを提供する。ラベルは、特に限定するわけではないが、オンサート、ステッカー、印刷接着フィルム、印刷収縮嵌合フィルム、エンボス、パネル上への直接塗装又は印刷、或いはこれらの組み合わせとすることができる。

【0014】

図1A～1Dは、ポケットサイズ容器の好ましい実施形態を示す。図1Aは、周縁バンド120が剛性ベース140に取り付けられ且つ剛性カバー102によって蓋をした場合の部分等角図である。図1Bを参照すると、この実施形態では、容器100は、平行の長側部104（すなわち直線壁）と湾曲した短い端部106（すなわち端部壁）とを備えた丸形コーナ形状を有する。端部106の曲率半径は、容器の幅が長側部104の間の距離である場合に容器の幅の半分と、容器の幅の90%との間であるのが好ましい。より好ましくは、曲率半径は幅の50%と60%の間である。容器100の長さは、1つの湾曲端部の中心と他方の湾曲端部の中心との間の距離である。好ましくは、容器の幅は、容器の長さの50%から80%である。より好ましくは、容器の幅は、長さの60%と65%との間である。

【0015】

図1A～1Dに示すように、好ましくは、容器カバー102は、蓋を取り外すために親指又は指の把持ポイントとして作用する隆起部110を有する。好ましくは、容器カバー102は、カム作用によって取り外すことができる。任意選択的に、容器カバー102は、周縁バンド120にヒンジ固定（図示せず）することができる。容器カバー102の下向きの壁114の各長側部104の頂部に1つの隆起部110が中心に配置されて示されているが、隆起部110の位置及び隆起部の数は特に限定されない。図1Cに示した容器100の端面図は、容器100の第1の中心側壁部分124を形成する周縁バンド120を例示している。ベース140は、丸形コーナ146によって上向き壁144に接合されたドーム形底部142を有する。上向き壁144は、好ましくは、第1の側壁部分124と同一平面上にあり、容器の第2の（下側）側壁部分を形成する。カバー102の頂部112は、この実施形態によるドーム形であり、丸形コーナ116によって下向き壁114に接合される。下向き壁114は、容器側壁の第3の（上側）部分を形成し、好ましくは、第1の部分124と同一平面上にある。

【0016】

図1Dに示した閉鎖容器100の側面図は、同一平面側壁180と分割ライン182とを図示しており、ここで下向き壁114の下側端部は、容器100が開いているときには周縁バンド120の上側シェルフから分離している。1つの実施形態において、カバー102及びベース140は1つの材料からなることができ、周縁バンド120は、第2の材料からなることができる。好ましい実施形態では、カバー102及びベース140は金属であり、周縁バンド120はプラスチックである。好ましくは、周縁バンド120は、透過性プラスチック（透明、又は黄色、緑色、青色、赤色、その他などの種々のシースルー色）であり、容器100の中身が見える窓を提供する。

【0017】

10

20

30

40

50

図2は、離間して配置された平行な長側部304と離間して配置された湾曲端部306とを有する丸形コーナ容器300の別の実施形態を示す。図3A及び3Bは、ドーム型底部342及び上向き壁344を有するベース340を有し、カバーが取り外された状態の容器300の別の実施形態の側面図及び端面図を示す。上向き壁344は、ベース340に周縁バンド320を取り付ける。好ましくは、上向き壁344の上縁は、周縁バンド320の下側リム部分に接続される(図7A参照)。

【0018】

好ましい実施形態では、周縁バンド320は、ベース340に機械的に固定される。好ましくは、周縁バンド320は、以下で図7Aを参照して説明されるベース上の機械カールによってベース340に固定される。また、好ましくは、周縁バンド320をベース340に固定するのを助けるために固着剤又は接着剤は使用されないが、必要に応じてこのような固着剤を使用してもよい。好ましくは、周縁バンド320は、該周縁バンド320の底部が周辺においてベース340の底部342の内表面に堅固に接触し、又は隣接するように固定され、周縁バンド320によって密閉される空間を最大にして消費者製品の保管のために利用する。トレイが周縁バンド320と一体的に形成された実施形態では、好ましくは、トレイの底部は、ベース340の底部342の内表面と接触するか又は隣接する。

【0019】

容器300の実施形態では、周縁バンド320は、一体型トレイの有無にかかわらず、容器ベース340に成形される下側リム部分と所定位置に成形することができる。好ましくは、周縁バンド320は、周縁バンド320によって密閉される空間を最大にして消費者製品保管に利用するために、ベース340の底部342の内表面周辺に周縁バンド320の底部が堅固に接触するように所定位置に成形される。

【0020】

周縁バンド320は、上向き壁344と同一平面の容器側壁を形成する突出ブルワーク324を有する。突出ブルワークから上方では、上側リム部分322が周縁バンド320の上側シェルフ332から延びる。上側リム部分322の上縁326は、上述のようにカバーの下向き壁内に嵌合し、更に上縁326は、フォイル又は薄膜を受け入れて気密性シール(図7B参照)を形成するためにすることができ、後で容器カバーによって覆うことができる。図3A及び3Bに示した実施形態によれば、上側リム部分322は、周縁バンドにカバーを解除可能に取り付けるために小突起部330を有することができ、これにより容器300の意図しない開放が阻止される。

【0021】

図4A及び4Bは、丸形コーナ316により下向き側壁314に接続されるドーム型頂部312を有し、容器300から取り外された容器カバー302の別の実施形態の側面図及び端面図を示す。下向き壁314は、上述のように、周縁バンドの上側リム部分を囲み、容器300を閉鎖する。好ましくは、下向き壁318の下縁は、周縁バンドの上側リム部分によって解除可能に取り付けられ、容器300を閉鎖する(図7A参照)。上側リム部分は、上側リム部分と下向き壁314との間の摩擦締まり嵌め、内向きロール縁部を有する下縁318が通過する上側リム部分上のスナップリング、上側リム部分及び下向き壁314の1つ又は両方の突起部などの構造体によって下縁に係合することができる。

【0022】

図5A及び5Bは、丸形コーナ416により下向き側壁414に接続されるドーム型頂部412を有する、容器300から取り外された容器カバー402の別の実施形態の側面図及び端面図を示す。下向き壁414は、図4A及び4Bに示した前の実施形態よりも更に下縁418まで延びる。丸形コーナ516により下向き側壁514に接続される平坦な頂部512を有する、容器300から取り外された容器カバー502の別の実施形態の側面図及び端面図が、図6A及び6Bに示される。この実施形態では、平坦な頂部512は、実質的に下縁518に平行である。カバー502の下縁518と平坦な頂部512との間には、容器300内の消費者製品の梱包時並びにユーザによる容器300の開閉時の蓋

10

20

30

40

50

動作を容易にするために下向き壁 5 1 4 上に隆起部 5 1 0 が示されている。カバー 3 0 2、4 0 2、及び 5 0 2 の実施形態は、好ましくは機械的延伸又はスタンプ加工されたシート金属である。

【0023】

図 7 A 及び 7 B を参照し、周縁バンド 6 2 0 の 1 つの実施形態の詳細を説明する。図 7 A では、ベース 6 4 0 をカバー 6 0 2 に接続した周縁バンド 6 2 0 の断面が示される。ベース 6 4 0 は、丸形コーナ 6 4 6 において上向き壁 6 4 4 に接続される底部 6 4 2 を有する。上向き壁 6 4 4 の上縁は、内向きカール縁部 6 4 8 (例えば、側壁のロールアップ部分) を有し、該端部は、周縁バンド 6 2 0 の下側リム部分 6 5 0 上のロック突起部 6 5 6 と、周縁バンドの下側シェルフ 6 5 2 との間で機械的にクランプされ、周縁バンド 6 2 0 に取り付けられたときにベース 6 4 2 が解除されるのを防止する。ロック突起部 6 5 6 の平坦面は、内向きカール縁部 6 4 8 を下側シェルフ 6 5 2 にクランプする間に周縁バンド 6 2 0 からベース 6 4 0 が手動で取り外されるのを防止する。好ましくは、上向き壁 6 4 4 は、下側リム部分 6 5 0 の周りに堅固に嵌合し、下側リム部分 6 5 0 の下側端部 6 5 4 は、底部 6 4 2 a の内表面に係合する。ロック突起部 6 5 6 は、カール縁部 6 4 8 を係合する平坦面を有するように図示され記載されたが、ロック突起部 6 5 6 は、このように限定されず、周縁バンドからベースが解除されるのを防止するために、凹形の湾曲面又は下側リム部分 6 5 0 の外表面から離れる方向に上向きに傾斜した面を有することができる。

【0024】

図示の実施形態では、上向き壁 6 4 4 は、下側リム部分 6 5 0 内に曲げられて、周縁バンド 6 2 0 にベース 6 4 0 をロックし、壁 6 4 4 のバネ動作がベース 6 4 0 を下側リム部分 6 5 0 に付勢して、薄膜シール及びラベルの 1 つ又は両方を支持するための平坦な円周方向外側容器側壁を提供する。任意選択的に、周縁バンド 6 2 0 及び一体トレイ 6 2 1 を備えた周縁バンドは、ベース 6 4 0 の所定位置に成形することができる。

【0025】

下側シェルフ 6 5 2 は、下側リム部分 6 5 0 を周縁バンド 6 2 0 の突出ブルワーク 6 2 4 に接続する。内向きカール縁部 6 4 8 は、下側シェルフ 6 5 2 にクランプされ、上向き壁 6 4 4 及び突出ブルワーク 6 2 4 が容器 6 0 0 の同一平面の側壁を形成するようにする。上述のように容器ベース 6 4 0 に固定された突出ブルワーク 6 2 4 の C 形ビームは、本実施形態による容器 6 0 0 に強度及び安定性をもたらす。他の実施形態によれば、突出ブルワーク 6 2 4 は、I 形ビーム、H 形ビーム、X 形ビーム、箱形ビーム、又は他の断面形状とすることができる。1 つの実施形態において、周縁バンドは、内部凹部のない平滑な内壁を有する。

【0026】

図 7 A に示すように、カバー 6 0 2 は、丸形コーナ 6 1 6 によって下向き壁 6 1 4 に接続された頂部 6 1 2 を有する。下向き壁 6 1 4 の下縁は、周縁バンド 6 2 0 の上側リム部分 6 2 2 及び周縁バンドの上側シェルフ 6 3 2 上の 1 つ又はそれ以上の小突起部 6 3 0 の間に解除可能に係合された内向きカール縁部 6 1 8 (例えば、側壁のロールアップ部分) を有する。小突起部 6 3 0 は、カール縁部 6 1 8 を係合する湾曲面として図示されているが、該小突起部 6 3 0 は、特にこれに限定されず、様々なサイズ及び形状とすることができる。1 つ又はそれ以上の小突起部 6 3 0 は、カバー 6 0 2 が周縁バンド 6 2 0 から意図せずに取り外されるのを防止すると共に、図 3 A 及び 3 B を参照して上記で記載したように、ユーザにより隆起部 6 1 0 に意図的な指圧力が加えられたときには、容器 6 0 0 からカバー 6 0 2 を取り外すことができるようにする。カバー 6 0 2 が周縁バンド 6 2 0 の上側リム部分 6 2 2 を覆って閉鎖されると、1 つ又はそれ以上の小突起部 6 3 0 が内向きカール縁部 6 1 8 を上側シェルフ 6 3 2 に係合する。好ましくは、下向き壁 6 1 4 は上側リム部分 6 2 2 の周りに堅固に嵌合し、上側リム部分 6 2 2 の上縁 6 2 6 は、頂部 1 2 a の内表面に係合する。

【0027】

ある実施形態によれば、複数の小突起部 6 3 0 は、上側リム部分 6 2 2 に外接し、容器

10

20

30

40

50

カバー602の下側内向きカール縁部618を解除可能に取り付けることができる。別の実施形態では、複数の小突起部630は、上側リム部分622の湾曲端部306（図2）にだけ配置することができ、又は、複数の小突起部630は、上側リム部分622の長側部304（図2）に沿ってだけ配置することができる。更に別の実施形態では、スナッピング（図示せず）のような単一のリングは、上側リム部分622の外表面に外接し、容器カバー602の下側内向きカール縁部618を解除可能に取り付けることができる。好ましくは、上側リム部分622の各長側部304（図3A参照）上の2つの小突起部630は、固定カバー602にクロージャを提供する。任意選択的に、容器カバーは、一方の長側部304上で周縁バンド620にヒンジ固定することができ、上側リム部分622の他方の長側部304上の小突起部630は、固定カバー602にクロージャを提供する。

10

【0028】

図7Bは、容器ベース640の底部642と整列したトレイ部分655を有する周縁バンド621の別の実施形態の断面を示す。好ましい実施形態では、周縁バンド620、621は、透過性プラスチックから作られ、消費者がその窓を通して容器の内容を観測する窓として機能する。また、好ましい実施形態では、第1の薄膜657が周縁バンド621の上縁626を気密シールし、これにより周縁バンド621によって定められる内部空間659内の消費者製品を気密シールする。第1の薄膜657は、特にこれに限定されず、フォイル、プラスチック、これらの組合せ物、或いはこれらの複合材料とすることができる。第1の薄膜657は、通気性又は非通気性とすることができる。好ましくは、第1の薄膜657は、該第1の薄膜657をユーザが取り外すためのプルタブ（図示せず）を有する。プルタブは、上側リム部分の一部分沿って押し下げる第1の薄膜657の親指サイズの重なり部分とすることができる。

20

【0029】

通気性薄膜は、該薄膜を通して1つ又はそれ以上のガス、蒸気、及び水を透過させることができる。通気性薄膜は、例えば、織布材料又は穿孔を有する薄膜など、多孔質の天然及び合成材料を含む。非通気性材料は、気密シールを提供し、ガス、蒸気、又は水が薄膜を通過することができない。

【0030】

図8は、図7Aに示す周縁バンド620の実施形態の側面図である。複数のロック突起部656が下側リム部分650上に示されている。好ましい実施形態によれば、ロック突起部656は、下側リム部分650に外接し、周縁バンド620の下側シェルフ652にクランプされた容器ベース640の上側内向きカール縁部648に係合することができる。別の実施形態では、ロック突起部656は、下側リム部分650の湾曲端部にだけ配置することができ、或いは、下側リム部分650の長側部に沿ってだけ配置することができる。更に別の実施形態では、ロック突起部単一リング（図示せず）は、下側リム部分650の外表面に外接し、周縁バンド620の下側シェルフ652にクランプされた容器ベース640の上側内向きカール縁部648に係合することができる。直線側壁304及び湾曲端部壁306を有する丸形矩形容器（図2）の1つの実施形態において、周縁バンド620の下側リム部分650は、好ましくは、各直線壁304に沿って4つのロック突出部656と、各湾曲壁306に沿った6つのロック突出部656とを有し、上側リム部分622は、好ましくは、各直線壁304に沿った2つの小突出部630を有し、各湾曲壁306に沿った小突出部630は有していない。

30

40

【0031】

1つの実施形態において、ポケットサイズ容器カバー602及びベース640の厚さは、約0.1mmから約0.4mm（例えば、約0.2～0.3mm、又は0.22～0.28mm）の範囲であり、ベース及びカバーの内向きカール縁部648、618は、約0.3mmから約2.5mm（例えば、0.4～2mm、0.5～1.5mm、0.6～0.8mm）の範囲のそれぞれの厚さを有する。1つの実施形態において、周縁バンド620の突出ブルワーク624は、内向きカール縁部648、618のそれぞれの厚さだけ周縁バンド620の上側及び下側リム部分622、650を超えて突出し、上述したように

50

(例えば、図1A～1Dを参照して)、カバー602、ベース640、及び周縁バンド620が同一平面の容器側壁を形成するようにする。1つの実施形態において、ポケットサイズ容器周縁バンド620の厚さは、約0.5mmから約2.5mm(例えば、1～2mm又は1.2～1.8mm)の範囲である。同様に、ポケットサイズ容器周縁バンド621が一体型トレイ部分655を有する1つの実施形態の場合、ポケットサイズ容器周縁バンド621及びトレイ部分655の厚さは、約0.5mmから約2.5mmの範囲(例えば、1～2mm又は1.2～1.8mm)である。突出ブルワーク624、上側リム部分622、下側リム部分650、及びトレイ部分655の厚さは、必ずしも同じである必要はなく、単一の周縁バンド620、621の実施形態の範囲内で全て変えることができ、或いは全て同じにすることができる。例えば、ポケットサイズ容器は、0.7～0.8mm(例えば、約0.75mm)厚さのカール縁部618を有する、約0.22～0.24mm(例えば、約0.23mm)厚さのスタンプ加工シート金属のカバー602と、0.7～0.8mm(例えば、約0.75mm)厚さのカール縁部648を有する約0.22～0.24mm(例えば、約0.23mm)厚さのスタンプ加工シート金属のベース640と、約1.3～1.6mm(例えば、約1.5mm)厚さのプラスチックの周縁バンド620、621とを有することができる。

10

【0032】

図9Aから9Dは、容器700の別の好ましい実施形態を示す。図9Aを参照すると、この実施形態では、容器700は、離間して配置され且つ狭い中間セクション709(例えば矩形中心セクション)によって分離された第1及び第2の広い端部セクション711、713(例えば丸形端部セクション)を有する。広い端部セクション711、713は、平行な側面704と湾曲端部706とを有する。端部706の曲率半径は、容器幅が長側部704の間の距離である場合、容器の幅の半分と、容器の幅の90%との間であるのが好ましい。より好ましくは、曲率半径は、幅の50%と60%の間である。容器700の長さは、一方の湾曲端部の中心と他方の湾曲端部の中心と間の距離である。好ましくは、容器の幅は、容器の長さの50%から80%である。より好ましくは、容器の幅は、長さの60%と65%との間である。

20

【0033】

この実施形態によれば、狭い中間セクション709は、狭い中間セクション709を広い端部セクション711、713に接続するための平行窪み側部708及びフレア付きセクション768を有する。丸形コーナ容器700のこのような形状はウエスト形状と呼ばれる。

30

【0034】

図9A～9Dに示すように、好ましくは、ウエスト形容器カバー702は、蓋を取り外すための親指又は指の把持ポイントとして機能する隆起部710を有する。1つの隆起部710は、容器カバー702の下向き壁714の各窪み側部708上に示されているが、隆起部710の位置及び隆起部の数は特に限定されない。図9Bに示した容器700の端面図は、容器700の第1の側面部分724を形成する周縁バンド720を例示している。ベース740は、丸形コーナ746により上向き壁744に接合されたドーム形底部742を有する。上向き壁744は、好ましくは、第1の側壁部分724と同一平面上にあり容器の第2の側壁部分を形成する。カバー702の頂部712は、この実施形態によるドーム形状であり、丸形コーナ716によって下向き壁714に接合される。下向き壁714は、容器側壁の第3の部分を形成し、好ましくは第1の部分724と同一平面上にある。

40

【0035】

図9Cは、カバー702が取り外されたウエスト容器700の側面図を示す。狭い中間セクション709を広い端部セクション711、713に接続するための平行窪み側部708及びフレア付きセクション768は、周縁バンド720及びベース740において容器700が同一平面の垂直側壁を有するよう見える。周縁バンド720及びベース底部742は、実質的に頂部712に適合するようなウエスト形状を有する。

50

【0036】

図9Dに示した閉鎖容器700の側面図は、容器700が開いているときに下向き壁714の下側端部が周縁バンド720の上側シェルフから分離した場合の同一平面の容器側壁780及び分割ライン782を示している。上記の実施形態では、カバー702及びベース740は1つの材料からなるものとすることができ、周縁バンド720は、第2の材料からなることができる。好ましい実施形態では、カバー702及びベース740は、スタンプ加工シート金属であり、周縁バンド720は成形プラスチックからなる。好ましくは、周縁バンド720は、透過性プラスチック（透明又は黄色、緑色、青色、赤色など種々のシースルー色）であり、容器700の中身が見える窓を提供する。好ましくは、容器側壁780は、容器に外接してラベル用パネル（例えば、印刷接着フィルム、印刷収縮嵌

10

【0037】

好ましい実施形態では、容器カバー及び容器ベースの1つ又は両方の外側は、予め印刷されてポリマーコーティングなどの耐傷性保護テクスチャ材料で処理されることになる。1つの実施形態では、容器は、ベースの内表面及びカバーの内表面の少なくとも1つの上に耐食性コーティングを更に含む。好ましくは、容器カバー及びベースの内部は、腐食防止用のエポキシコーティングなどの耐食コーティングで処理されることになる。好ましくはないが、カバー及びベースの1つ又は両方は、頂部及び底部凹状パネルを有することができる。このような凹状パネルは、ラベル（例えば、エンボス、接着又は収縮嵌合ラベル

20

【0038】

好ましい実施形態では、周縁バンドの頂部にはテーパが付けられ、上側リム部分の頂部周りの内向きカール縁部にカバーを容易に位置決め又は位置合わせできるようになり、カバー及びベースが互いに向かって圧迫されたときに容器の滑り閉鎖を行う。周縁バンドは好ましくは、消費アイテムのために周縁バンド内部の空間を利用するため、又はシール可能な面を提供するため、或いはこの両方のためにカバーが閉じられたときにベースの底部及びカバーの頂部と接触する。

【0039】

30

好ましい実施形態では、カバーが容器を閉鎖するときには、カバーの下向き壁が、頂部から底部までの距離の15%から45%の範囲の距離を頂部から下向きに延びて、ベースの上向きの壁が底部から上向きに延び、周縁バンドの突出ブルワークは、カバーが容器を閉鎖するとき、頂部から底部までの距離の10%から70%の範囲の距離を延びる。好ましくはまた、下向き壁及び上向き壁の高さは等しい。従って、カバーと周縁バンド上側シェルフとの間の分割ラインは、カバーに対して区切られた容器の高さが、周縁バンド及びベースの突出ブルワークに対して区切られた容器高さの残りの部分よりも著しく低くなるように配置される。このような好ましい分割比は、より薄いカバー（蓋）がベース上に向けられ、カバーが取り外されている間にユーザに直立位置を示すように配分される。しかしながら、分割比は、あらゆる他の望ましい値を有することができる。例えば、容器は、カバー高さに対して区切られた容器高さの70%から30%の範囲、及びこれに対応して突出ブルワーク及びベース高さに対して区切られた30%から70%の範囲の分割比を有することができる。1つの実施形態において、分割比はまた、容器に保管される製品の量と整合性のある所望の一定内部容積を得るように選択することができる。例えば、容器は、約20～24mm高さ（例えば22mm高さ）、約45～55mm幅（例えば50mm幅）とすることができ、約75～85mm長さ（例えば80mm長さ）を有する。このような実施形態では、カバー高さは、約5～10mm（例えば7mm）、突出ブルワーク及びベース高さは、約12～19mm（例えば15mm）とすることができ

40

【0040】

1つの実施形態において、ポケットサイズ容器は、幅が約30mmから約80mm、長

50

さが約60mmから約110mm、高さが約15mmから40mmである。ウェスト形状を有するポケットサイズ容器の1つの実施形態において、狭いセクション（例えば矩形中心セクション）は、広いセクションの幅が約30mmから約80mmである場合、広いセクション（例えば丸形端部セクション）よりも約3mmから約20mm狭くすることができる。ウェスト形容器は、長さが約60mmから約110mmであり、狭いセクションは、長さが約15mmから約45mmであり、フレア付きセクションは、長さを各々約3mmから約15mmとすることができ、容器は、高さを約15mmから約40mmとすることができる。好ましい実施形態では、容器は、成人ユーザの手の平又はポケットに収まる。最も好ましくは、内部容積のサイズは、密閉される製品の量に基づいて決定される。

【0041】

10

1つの実施形態において、周縁バンドは、低密度ポリエチレン樹脂などの一体成形の射出成形プラスチックである。好適なプラスチックは、限定ではないが、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリスチレン、ナイロン、ポリスルホン、ポリエステル、ポリウレタン、及びこれらの組み合わせを含む。一部のプラスチックは香味を吸収するので、密閉した製品が香味を含有する場合には好ましいプラスチックは、ポリプロピレンである。

【0042】

1つの実施形態では、カバー及びベースは金属スタンプ加工で形成される。好適な金属は、限定ではないが、アルミニウム、アルミニウム合金、鋼、ステンレス鋼合金、チタン、チタン合金、マグネシウム、マグネシウム合金、錫、錫合金、銅、銅合金、真鍮、及びこれらの組み合わせを含む。カバー及びベースは、好ましくは内向きカール縁部の形状、高さ及び幅が同一である。

20

【0043】

好ましくは、周縁バンドは、容器カバーに対するシールを提供する。好ましくは、周縁バンドは、容器を開閉するためにカバーの取り外し及びカバーの交換を容易にする。好ましくはまた、周縁バンドの突出ブルワークによって形成された同一平面の容器側壁の表面及びベースの上向き側壁は、ラベル用の平面円周方向パネルを提供する。好ましくはまた、容器が閉鎖されているときに、周縁バンド、ベースの上部側壁、及びカバーの下向き側壁は、ラベル用平面円周方向パネルを提供する。

【0044】

図10に示した実施形態では、第2の薄膜シール872は容器800の周辺を囲む。この実施形態では、容器800は、円形コーナ頂部812と適合する形状を有するが、容器800の形状はこれに限定されず、上記で説明したように他の形状を有することができる。第2の薄膜872は、カバーと周縁バンド上側シェルフとの間で分割ラインシーム882と重なり合う。好ましくは、第2の薄膜シール872は、容器側壁の表面に適用される感圧式透明ラベルである。任意選択的に、不正防止の目的で容器の周辺部周りにラップされたテープは、第2の薄膜シール872として使用することができる。好ましくはまた、第2の薄膜シール872は、不正開封防止シールとして使用することができる。好ましくはまた、薄膜材料はポリプロピレンとすることができる。第2の薄膜シール872は、ポリプロピレンが好ましいが、第2の薄膜シール872は、熱収縮性ポリオレフィンフィルムなどの他の好適な材料であってもよい。第2の薄膜シール872は、通気性又は非通気性とすることができる。

30

40

【0045】

好ましい実施形態では、第2の薄膜シールは、適切な容器通気機能を可能にするように穿孔される（874）。好ましくはまた、第2の薄膜シール872は、容器の円周を覆い、容器が閉鎖されているときに、カバー及び周縁バンド上側シェルフの分割ライン882にわたってこのような穿孔874が中心になるように位置付けられる。穿孔された第2の薄膜872を使用することで、容器800の開放機能が改善される。使用時には、消費者は、穿孔874においてシールを破断した後、容器800を開放する。別の実施形態では、第2の薄膜シール872は、第2の薄膜872のシールを破断して容器800の内容物にアクセスできるように係合されたプルタブ（図示せず）を含む。分割ライン882の

50

位置は、穿孔 8 7 4 によって示される位置、又はそれよりも高いか又は低い位置とすることができる。同様に、穿孔 8 7 4 は、図示の位置或いはそれよりも高く又は低くすることができる。

【0046】

第 2 の薄膜シール 8 7 2 は好ましくは、穿孔 8 7 4 によって分離された複数の水平セクション（図示せず）を有する。例えば、上側セクションは、穿孔の第 1 の列によって中央セクションから分離され、下側セクションは、穿孔の第 2 の列によって中央セクションから分離される。好ましくは、上側セクションの内表面がカバー下向き壁に結合され、下側セクションの内表面が周縁バンドの突出ブルワーク及びベース上向き壁に結合され、中央セクションが破断用穿孔によって取り外された後に容器を開放できるようにする。このよう
10

【0047】

上側及び下側セクションの内表面は、好ましくは容器側壁部分に結合されるが、上側及び下側セクションはまた、切り取りストリップが切断されたとき又は穿孔 8 7 4 が破断されたときに、薄膜シールを任意選択的に完全に取り外すことができるように結合することはできない。例えば、第 2 の薄膜シール 8 7 2 は、側壁を任意選択的に覆う容器の周辺部、側壁並びに頂部及び底部のうちの 1 つ又は両方の部分、又は容器 8 0 0 全体に収縮嵌合
20

【0048】

限定ではないが、第 2 の薄膜シール 8 7 2 は、10～30 mm 幅とすることができる。好ましくは 15 mm 幅である。上側及び下側セクションは各々、2～7 mm 幅とすることができ、中間セクション幅は 1～8 mm 幅とすることができる。好ましくは、中間セクションは 6 mm 幅、上側及び下側セクションは各々 3 mm 幅である。

【0049】

1 つの実施形態では、第 1 の薄膜が周縁バンドの上縁から第 1 の薄膜を取り外すためのプルタブを含み、又は第 2 の薄膜が、容器を開放するために第 2 の薄膜を破断するのに使用される不正開封防止プルタブを含む。別の実施形態では、第 1 の薄膜が周縁バンドの上縁から第 1 の薄膜を取り外すためのプルタブを含み、更に第 2 の薄膜が、容器を開放するために第 2 の薄膜を破断するのに使用される不正開封防止プルタブを含む。
30

【0050】

容器 6 0 0 の組み立ては極めて簡単である。図 7 A 及び 7 B を参照すると、周縁バンド 6 2 0、6 2 1 の下側リム部分 6 5 0 は、ベース 6 4 0 の上向き壁 6 4 4 内に挿入されて、ベース 6 4 0 の上縁 6 4 8 が下側リム部分 6 5 0 の 1 つ又はそれ以上のロック突起部 6 5 6 の上でスナップ嵌合するまで押し下げられる。カバー 6 0 2 は、周縁バンド 6 2 0 の上側リム部分 6 2 2 に取り付けることができる。任意選択的に、周縁バンド 6 2 0、6 2 1 は、所定位置で成形することができる。
40

【0051】

使用時には、消費者は、自分の手の平に容器 6 0 0 の底面を把持しながら、カバー 6 0 2 を周縁バンド 6 2 0 から持ち上げて、内部容積 6 5 9 内に保管される消費者製品を露出させる。好ましくは、ユーザは、カム運動を加えて、カバー 6 0 2 を周縁バンド 6 2 0 から分離する。任意選択的に、ユーザは、カム運動を加えてヒンジ固定カバーを開放する。ベース 6 4 0 は、ユーザがカバー 6 0 2 を取り外すのに十分な力を加えたときに外れることがないように、周縁バンド 6 2 0、6 2 1 にロックされる。好ましくは、ベース 6 0 2 は、ユーザが手の圧力だけを用いて周縁バンド 6 2 0、6 2 1 から取り外すことはできない。

【0052】

容器の特定の寸法及び比率は必須ではない。好ましくは、比率は、包装されることになる特定の物品を収容するための大きさにされた容器を提供するように選定される。従って、実際の容器は、図に示したものよりも細長くすることができ、又は、容器は、図面で示したものよりも正方形に近く、或いはより深くすることができる。しかしながら、好ましくは、容器は、ポケットに好都合に携行され、消費者が手で保持し、開放できるような大きさにされる。

【0053】

物品は、様々な方法で配置することができる。例えば、製品は、物品を互いに重ね合わせて又は交互にして配置することができる。勿論、製品が十分に小さい場合、内部容積内にランダムに置くこともできる。

10

【0054】

当然、容器は様々な製品に使用できる。容器が使用可能な1つの特定の製品は、無煙タバコポーチである。このようなタバコは、小包状態で提供され、場合によっては「スヌース」として知られ、タバコ材料の個々の小包を含むことができる。容器が使用可能な別の特定の製品は、湿潤無煙タバコ(MST)である。

【0055】

容器がスヌースに使用される場合、第1の薄膜657は、気密性シールを与えて製品の新鮮さを維持し、第2の薄膜872は、穿孔付き又は穿孔なしとすることができる。任意選択的に、容器がスヌースに使用される場合、第1の薄膜657は省略することができ、第2の薄膜872は、気密性シールを提供するよう非穿孔にすることができる。

20

【0056】

容器が湿潤無煙タバコ(MST)に使用される場合、好ましくは、製品は、使用される何らかの薄膜を通して例えば排ガスを通気することができる。第1の薄膜657及び第2の薄膜872の一方又は両方が湿潤無煙タバコと共に容器内で使用される場合、第1の薄膜及び第2の薄膜は、通気可能な材料を含むのが好ましい。

【0057】

上記のことから、複数の物品を収容することができ、消費者が携帯し且つ開放可能な安価なポケットサイズの容器が提供されることは理解されるであろう。

【0058】

上記の説明は、好ましい実施形態に関するものであり、従って、単に物品及び同物品を製造する方法を示している点を理解されたい。当業者であれば、上記の教示に照らして異なる実施形態の変形及び修正形態が容易に明らかになることは理解できる。例えば、周縁バンドはベースの底部を整列させる底部分を有することができ、周縁バンドは中空壁を有してもよく、或いは、容器の形状は、丸形コーナ及びウエストから、平滑な丸形コーナを備えた立方体又は他の多面体などの他の形状に変えることができる。従って、例示的な実施形態並びに代替の実施形態は、添付の請求項に記載された物品及び方法の技術的思想及び範囲から逸脱することなく実施することができる。

30

【符号の説明】

【0059】

- 100 容器
- 102 容器カバー
- 120 周縁バンド
- 140 ベース

40

【図 1 A】

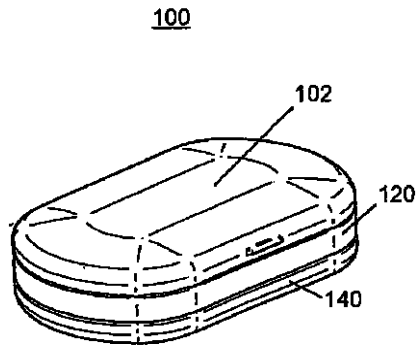


FIG. 1A

【図 1 B】

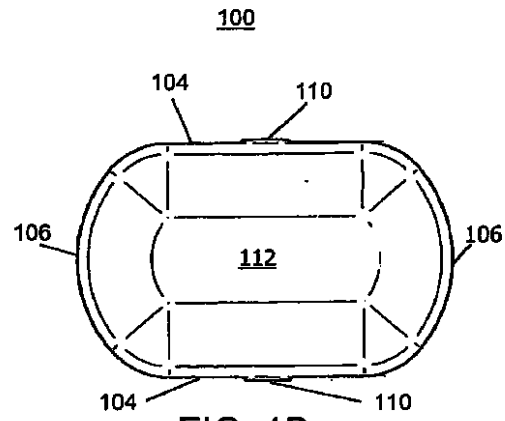


FIG. 1B

【図 1 C】

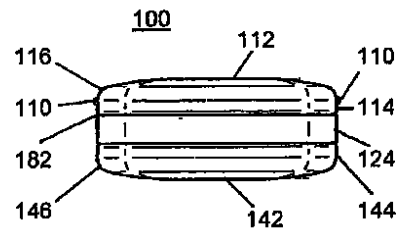


FIG. 1C

【図 1 D】

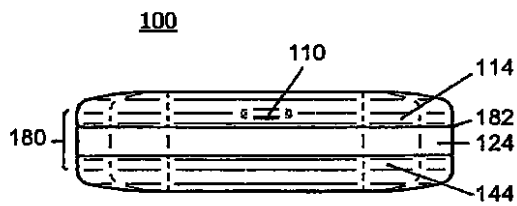


FIG. 1D

【図 3 A】

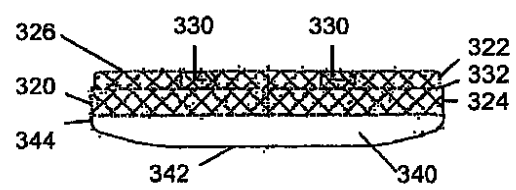


FIG. 3A

【図 2】

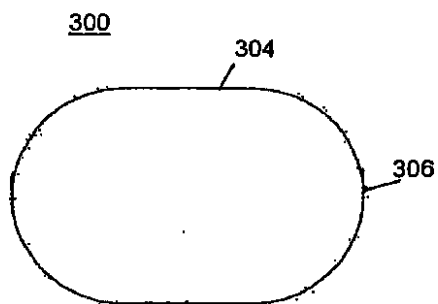


FIG. 2

【図 3 B】

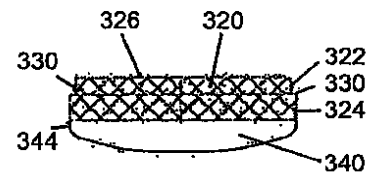


FIG. 3B

【図 4 A】

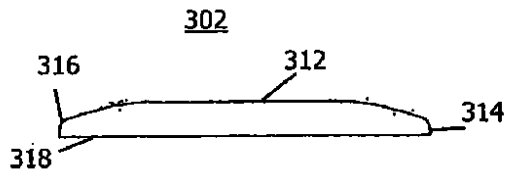


FIG. 4A

【図 4 B】

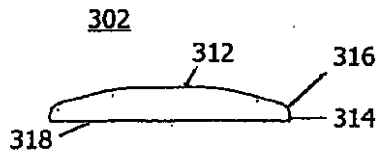


FIG. 4B

【図 5 A】

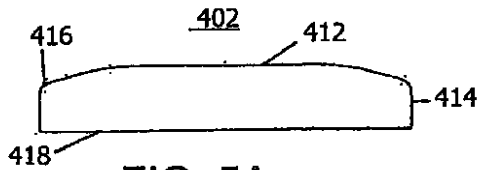


FIG. 5A

【図 5 B】



FIG. 5B

【図 6 A】

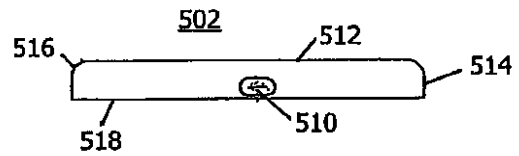


FIG. 6A

【図 6 B】

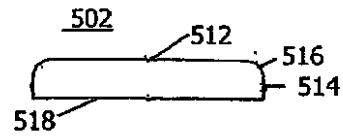


FIG. 6B

【図 7 A】

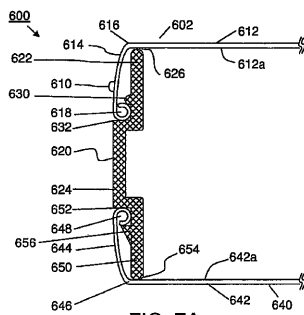


FIG. 7A

【図 7 B】

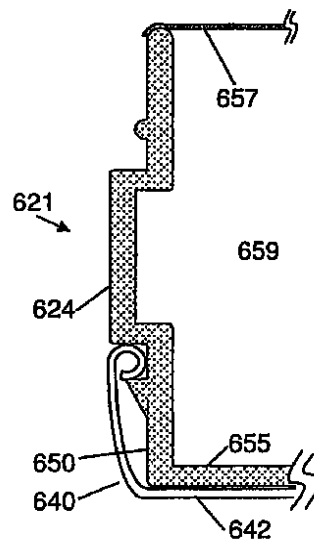


FIG. 7B

【図 8】

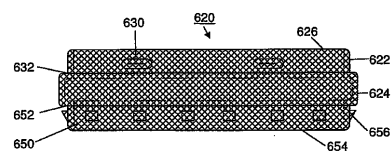
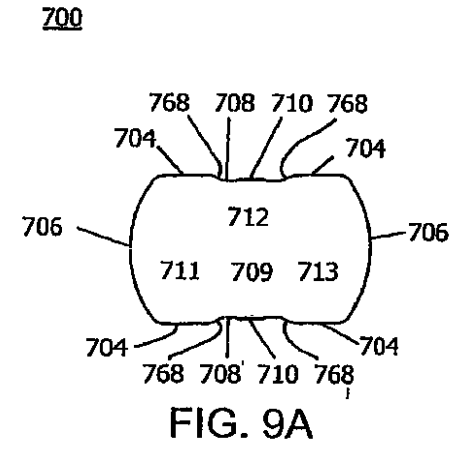
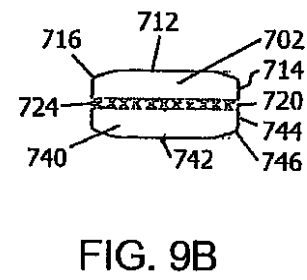


FIG. 8

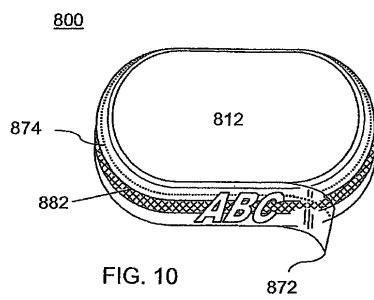
【図 9 A】



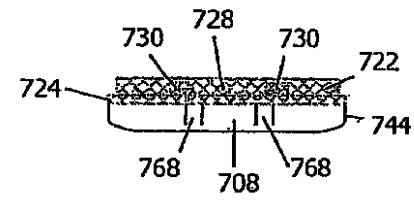
【図 9 B】



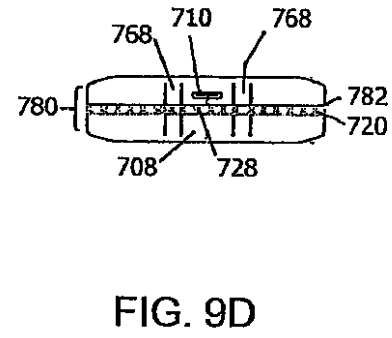
【図 1 0】



【図 9 C】



【図 9 D】



フロントページの続き

(74)代理人 100109335

弁理士 上杉 浩

(72)発明者 ベラマー スティーブン ジェイ

アメリカ合衆国 ヴァージニア州 23113 ミッドロージャン コーナー ロック ロード
1930

(72)発明者 グリフィン ウィリアム ティー

アメリカ合衆国 ヴァージニア州 23838 チェスターフィールド フィンズタウン レーン
8531

(72)発明者 ハワード ドミニク ジェイ シー

アメリカ合衆国 ヴァージニア州 23113 ミッドロージャン エラートン テラス 133
15

(72)発明者 ミッテン ロバート ティー

アメリカ合衆国 ヴァージニア州 23060 グレン アレン ブルックムーア レーン 10
221

審査官 会田 博行

(56)参考文献 実開昭59-066721 (JP, U)

特表2000-509688 (JP, A)

実開昭60-024728 (JP, U)

特開平05-065105 (JP, A)

特開2002-080040 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 6/00